

牛込一中だより

新宿区立牛込第一中学校
(平成28年度第1号)

学校教育目標

人間尊重の精神を基盤として、国際的視野に立ち、心豊かな国民を育成する。

- 一 自ら考え、進んで実行する人 (自立)
- 二 思いやりのある情操豊かな人 (共生)
- 三 心身ともに健康で、明朗な人 (健康)

よろしく願いいたします

お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。今年度4月に着任いたしました、
校長のこすだひでみ小須田秀実です。この牛込第一中学校の素晴らしい伝統を継承していくとともに、更なる教育活動の向上を目指したいと思っています。職員一同全力で頑張ります。どうぞ、変わらぬご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

今年度は新入生55名を迎えて4月7日に入学式を行いました。平成28年度のスタートは、全校生徒241名でスタートします。新入生の皆さんは、一日も早く学校に慣れて、立派な一中生になってほしいと思います。上級生になった皆さんは、失敗を恐れずチャレンジしていく1年間にしてほしいと思います。

入学式式辞より (抜粋)

今日は中学校生活を送るうえで、大切にしてほしいことをお話します。すごく昔の陸上選手のお話しです。その人の名前はジェシー・オーエンスといいます。古い話なので、皆さんは彼の名前を聞いたことがないと思います。彼は1936年のベルリン・オリンピックで大活躍したアメリカの陸上選手です。

彼は努力の人でした。その努力が実って大活躍したのですが、そのきっかけとなったのが、中学校の陸上競技大会だったのです。その大会で、接戦の末に負けてしまったオーエンス少年に、彼のコーチが「おめでとう。よくやった。立派だったよ。」と声をかけたのです。きょとんとしているオーエンス少年にコーチは続けてこう言いました。「君は、今日、勝ったのだよ。『走るのがやめれば楽になる』と思っている自分に負けずに、最後まで走りきったじゃないか。」

実は、それまでのオーエンス少年は負けそうになると、本気で走らなくなるような少年だったのだそうです。

そのコーチの一言で目覚めたオーエンス少年は、それから毎日、本気で努力するようになり、ベルリン・オリンピックで大活躍することになるのです。

この話の大切なことは、オーエンス選手が努力してオリンピックでメダルを取ったことではありません。勝負なのですから、勝つこともあれば、負けることもあります。大切なことは「努力をつづけた。」ということです。しかも、誰かに勝つのではなく、「自分に勝つ」ための努力ができる人になったということです。

皆さんも、自分の弱い心に負けそうになった経験はありませんか？しかし、自立するため、人と共生するため、そして心も体も健康で明るく過ごせるためには、弱い心に負けずに努力し続けることこそが大切なのです。

これからの3年間で、新入生全員にとって素晴らしく、そして充実したものになるように、頑張っていきましょう。

よろしく願いいたします

